

# 健康生活支援課

## VI 健康生活支援課の業務概要

健康生活支援課は、感染症対策に関する事業として結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業について医療、教育機関等の関係機関と連携を図りながら業務を行っている。食品衛生に関する事業として、流通食品の安全確保、飲食店等の衛生管理指導業務を、生活衛生業務では、理・美容所、旅館等の営業施設、水道、特定建築物、畜舎等の環境衛生、狂犬病予防・動物愛護管理業務など幅広い業務を所掌している。健康危機管理に関する事業として、感染症、食中毒、医薬品、飲料水、毒物劇物等により生じる、不特定又は多数の市民の生命、健康を脅かす事態に対し、市町村や医療機関等の関係機関と緊密な連携を図り、健康被害の発生予防、拡大防止、治療体制の確保、原因究明などの各種対策に取り組んでいる。

### 1 結核予防事業

管内の罹患率は、令和2年は10.0で令和元年の8.5より増加した。ここ数年は増減を繰り返しているが、10年スパンで見ると減少傾向にある。年末時登録者数は55名（元年は58名）と若干減少しているが、新登録患者数は27名（元年は23名）で前年より増加している。新登録患者のうち、活動性肺結核患者23名中で喀痰塗抹陽性患者は16名となり69.6%を占めている。患者管理においては、保健師によるDOTSを実施し、治療の促進、早期の社会復帰及び再発防止に努めたほか、結核専門医療機関とのDOTS会議に参加し、患者の治療状況等について意見交換を行い、患者管理・患者支援の推進を図った。

#### (1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移 (単位：人)

年		平成	平成	平成	平成	平成	令和	令和
区分		15年	20年	28年	29年	30年	元年	2年
管内人口		280,001	280,199	273,753	272,711	272,453	270,478	268,816
新登録患者数		76	49	32	42	26	23	27
年末時登録者数		208	131	92	93	78	58	55
結核死亡者数	管内	6	3	2	2	2	3	1
	千葉県	52	62	75	71	82	62	68
結核死亡率 (人口10万対)	管内	2.1	1.1	0.7	0.7	0.7	1.1	0.4
	千葉県	1.0	1.2	1.4	1.3	1.6	1.2	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内	27.1	17.5	11.7	15.4	9.5	8.5	10.0
	千葉県	22.9	13.7	11.9	14.2	12.0	11.1	9.8
有病率 (人口10万対)	管内	27.1	9.1	9.5	5.1	5.5	6.7	7.1
	千葉県	21.2	9.0	7.4	9.1	7.7	6.9	5.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県の記事には千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					肺 活 外 動 結 核 性	罹 患 率 (人 口 10 万 対)	占 め る 割 合 (%) の ち	肺 結 核 の う ち の ち	塗 抹 陽 性	無 症 状 病 原 体 保 有 者 ( 潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	の 結 核 死 亡 者 体	の 結 核 死 亡 疑 い 者 体
		活 動 性 肺 結 核													
		計	陽 咳 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の	そ 菌 の 陰 他 性									
平成30年	26	20	7	5	8	6	9.5	35.0	12	-	-	-	-	-	
令和元年	22	19	7	6	6	3	8.1	36.8	20	-	1	-	-		
令和2年	27	23	16	6	1	4	10.0	69.6	20	-	-	-	-		

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					肺 活 外 動 結 核 性	不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人 口 10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 ( 潜 在 性 結 核 感 染 症)	
		活 動 性 肺 結 核									治 療 中	観 察 中
		計	陽 咳 痰 塗 性 抹	登 録 時 性	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 時						
平成30年	78	12	2	2	8	3	51	12	5.5	6	12	
令和元年	58	15	5	6	4	3	32	8	6.7	12	11	
令和2年	55	16	12	3	1	3	30	6	7.1	6	10	

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表 1 - (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
	数	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳以上
平成 30 年	26	-	-	3	1	3	2	7	5	5	0
令和元年	23	-	-	1	2	1	2	5	4	5	3
令和 2 年	27	-	1	1	1	2	3	7	5	7	0

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表 1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
	数	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳以上
平成 30 年	78	-	-	7	9	8	7	18	16	11	2
令和元年	58	-	-	3	8	4	8	14	8	10	3
令和 2 年	55	-	1	1	4	4	8	12	12	11	2

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成30年	保健師	3	20	6	7	7	14	33	71	44	56	101	7	27	36
	DOTS支援員	2	-	-	-	-	9	1	8	52	-	5	3	-	-
	薬局	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	5
令和元年	保健師	3	23	5	14	4	59	10	15	15	11	98	10	45	50
	DOTS支援員	2	-	-	-	-	26	-	1	6	-	8	6	-	1
	薬局	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
令和2年	保健師	3	42	10	25	7	59	11	34	32	8	78	8	4	54
	DOTS支援員	2	-	-	-	-	18	-	9	7	1	9	1	-	10
	薬局	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
令和2年	患者数(人)		20						23			19			

(7) DOTS実施状況

表1-(7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核喀痰 塗抹陽性患者 (再掲)		
平成30年	実施者数	40	34	15	17	
	患者数※	40	34	15	17	
令和元年	実施者数	23	18	3	6	
	患者数※	24	19	4	8	
令和2年	実施者数	20	16	7	20	
	患者数※	21	17	8	20	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1－(8)－ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 30 年	32	29	90.6	49	17	0	32	0	0	27	0	2	0	0
令和 元年	57	55	96.5	86	58	2	26	0	0	54	0	1	0	0
令和 2 年	47	46	97.9	102	63	4	35	0	0	44	0	2	0	0
保 健 所	/			30	21	0	9	0	0	18	0	0	0	/
委 託 分				72	42	4	26	0	0	26	0	2	0	
そ の 他				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表1－(8)－イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異 常 な し	発 病 の お そ れ	潜 在 性 結 核 感 染 症	要 医 療 ③	要 医 療 率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 30 年	214	192	89.7	272	112	1	159	0	0	185	0	7	0	0
令和 元年	273	264	96.7	312	200	-	110	1	1	261	1	2	0	0
令和 2 年	146	139	95.2	198	83	0	111	2	2	136	0	1	2	1.4
保 健 所	/			66	49	0	17	0	0	52	0	0	0	/
委 託 分				114	33	0	77	2	2	70	0	1	2	
そ の 他				18	1	0	17	0	0	14	0	0	0	

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成30年	103	89	86.4	180	132	24	24	30	59	-	-
令和元年	79	69	87.3	145	97	24	24	30	46	2	2.9
令和2年	66	61	92.4	142	82	30	30	24	58	-	-
保健所				10	10	-	-	5	5	-	
委託分				113	53	30	30	13	40	-	
その他				19	19	-	-	6	13	-	

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成30年	60	60	-	19	19	-	4	4	-	19	19	-	12	12	-	5	5	-	1	1	-
令和元年	66	66	-	18	18	-	8	8	-	14	14	-	19	19	-	7	7	-	-	-	-
令和2年	54	54	-	9	9	-	7	7	-	13	13	-	21	21	-	3	3	-	1	1	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康保険	後期高齢者	生活保護法	その他
		本人	家族	保険				
平成30年	7	-	-	3	2	2	-	
令和元年	9	-	-	2	5	2	-	
令和2年	18	3	1	3	7	4	-	

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成30年	7
令和元年	10
令和2年	19

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成30年	6	6	6
令和元年	8	8	9
令和2年	17	17	17

表1-(11)-ウ 入院措置数 (単位:件)

区分 年	入院措置数
平成30年	0
令和元年	0
令和2年	0

## (12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位：件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成30年	-	1	1	-	-	1	-	-
令和元年	-	2	1	1	0	2	-	-
令和2年	-	4	1	2	1	4	-	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位：件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成30年	82	43	106	8	11	-
令和元年	49	206	243	4	7	1
令和2年	70	75	138	2	5	-

## (13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位：件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成30年	110	184	78	97	32	87
令和元年	43	144	31	78	12	66
令和2年	36	156	26	103	10	53

## (14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1- (14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)						
平成30年	91,792	23,574	25.7	10,750	12,661	2	0	0	0
令和元年	92,366	23,560	25.5	10,457	13,103	0	1	0	0
令和2年	94,869	20,568	21.7	6,941	13,638	1	0	0	0
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)			1,199	785	0	0	0	0
	施 設 長	福祉施設入所者 (65歳以上)		217	893	0	0	0	0
		その他施設 入所者		0	0	0	0	0	0
	事業者			2,771	7,545	1	0	0	0
	市町村長			2,754	4,415	0	0	0	0

## 2 感染症予防事業

感染症予防事業については、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づき、感染症の発生予防、発生時の二次感染防止等に努めた。

令和2年は、3類感染症である腸管出血性大腸菌感染症の発生が2名で、原因究明と感染拡大防止に取り組んだ。

例年は、感染症予防及び蔓延の防止等について、市や保育園・幼稚園、社会福祉施設等の職員を対象として感染症に関する必要な知識の普及を図るため研修会を開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見合わせた。

### (1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和2年	-	-	-

### (2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和2年	-	-	-

### (3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性 大腸菌 感染症	腸チフス	パラチフス
平成30年	9	-	-	9	-	-
令和元年	4	-	-	4	-	-
令和2年	2	-	-	2	-	-
市原市	2	-	-	2	-	-
その他 (管外)	-	-	-	-	-	-

## (4) 4類感染症発生状況

表2- (4) 4類感染症病発生状況 (発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成30年	令和元年	令和2年
1	E型肝炎	2	2	3
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	-	1
4	エキノコックス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チングニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	4	3	1
22	デング熱	-	-	-
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	1
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	4	6	10
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況 (発生届受理数)

(単位：人)

疾患名		平成 30 年	令和 元 年	令和 2 年
1	アメーバ赤痢	1	2	1
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	2	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	-	3	-
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	-	-	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	2	1	-
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	-	-
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	4	2
9	後天性免疫不全症候群	-	1	2
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	-	-	-
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	-
14	水痘 (入院例に限る。)	1	-	-
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	6	7	3
17	播種性クリプトコックス症	-	1	-
18	破傷風	-	-	-
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
21	百日咳	9	20	1
22	風しん	9	2	-
23	麻しん	-	-	-
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	-

※4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった

※21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位:箇所)

インフルエンザ	小 児 科	眼 科	性 感 染 症	基 幹	疑 似 症
11	7	2	2	1	4

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位:人)

疾 患 名		平成30年	令和元年	令和2年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び 新型インフルエンザ等感染症を除く)	5112	4547	1424
2	RS ウイルス感染症	53	71	9
3	咽頭結膜熱	72	111	27
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	329	651	379
5	感染性胃腸炎	1748	2117	960
6	水痘	144	147	37
7	手足口病	198	963	27
8	伝染性紅斑	146	189	15
9	突発性発しん	134	137	146
10	ヘルパンギーナ	192	182	8
11	流行性耳下腺炎	34	43	30
12	急性出血性結膜炎	-	1	1
13	流行性角結膜炎	135	155	73
14	性器クラミジア感染症	57	-	-
15	性器ヘルペスウイルス感染症	1	-	-
16	尖圭コンジローマ	1	-	-
17	淋菌感染症	5	-	-
18	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスで あるものに限る。)	5	17	1
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	1	0	0
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、 インフルエンザ菌を原因として同定さ れた場合を除く。)	6	2	3
21	マイコプラズマ肺炎	3	2	4
22	無菌性髄膜炎	8	8	6
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	-
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	10	-	-
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	1	-	1
検体提供数 (件)	19	-	-	3

(6) 指定感染症発生状況

表 2 - (6) 指定感染症発生状況 (発生届受理数) (単位: 人)

年	疾 患 名	人 数
令 和 2 年	新型コロナウイルス感染症	379

(7) その他

表 2 - (7) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位: 件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 30 年度	53	1062	86	19	1	-
令和元年度	33	592	51	11	0	-
令和 2 年度	0	0	0	0	0	-
幼 稚 園	0	0	0	0	0	-
小 学 校	0	0	0	0	0	-
中 学 校	0	0	0	0	0	-
高 等 学 校	0	0	0	0	0	-
そ の 他	0	0	0	0	0	-

(8) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (8) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令 和 2 年 度		-	-	-

イ 2類感染症

表2-(8)-イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況（結核は除く）

年度	病類	疾患名	調査(人)	検査(件)
	令和2年度		-	-

ウ 3類感染症

表2-(8)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

年度	病類		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成30年度	11	46	-	-	-	-	11	46	-	-	-	-	4
令和元年度	4	19	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-	1
令和2年度	2	11	-	-	-	-	2	11	-	-	-	-	1

エ 4類感染症

表2-(8)-エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和2年度	E型肝炎	3
	つつが虫病	1
	レジオネラ症	10
	A型肝炎	1

オ 5類感染症

表2-(8)-オ 5類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
令和2年度	調査対象となる感染事例（疑いも含む）や施設における集団発生等事例はなし	—

カ 指定感染症

表 2 - ( 8 ) - カ 指定感染症健康調査状況 ※1 (単位：人)

区 分	疾 患 名	調 査
令 和 2 年 度	新型コロナウイルス感染症	932 ※2

※1 医療機関からの発生届があったものについて直ちに調査を実施しており、患者 1 人当たり発生届 1 件として保健所に届出される。

※2 令和 2 年 4 月 1 日～同年 3 月 31 日の間に届出を受理した 976 件のうち、届出の管外への転送や取り下げ等、当センターでは調査に至らなかった 44 件を除いた数である。

( 9 ) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表 2 - ( 9 ) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

区 分 年 度	総 数	報 除 数 (人) (検 疫 通 査 に 伴 う 調 査 数 (人))	管 外 で の 感 染 症 発 生 に 伴 う 調 査 数 (人)	自 主 申 告 に よ る 調 査 数 (人)	接 触 者 及 び 同 行 者 調 査 数 (人)	検 疫 通 報 に 伴 う 調 査 数 (人)	検 便 実 施 者 数 (人)	検 出 菌 (件)			
								コ レ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成 30 年度	3	3	-	-	-	-	6	-	-	6	-
令和元年度	5	5	-	-	-	-	22	-	-	1	-
令和 2 年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( 1 0 ) 衛生研究所・君津保健所（検査課）への検査依頼数

表 2 - ( 1 0 ) 衛生研究所・君津保健所（検査課）への検査依頼数 (単位：件)

区 分	疾 患 名	結 果			計
		陽 性	陰 性	検査不能	
令 和 2 年 度	無菌性髄膜炎	0	3	0	3
	A 型肝炎	1	0	0	1
	ロタウイルス	0	1	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	1	10	0	11
	新型コロナウイルス感染症	353	3851	10	4214

(11) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2-(11)-ア 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾患名			計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	指定感染症	
平成30年度	-	11	-	11
令和元年度	-	3	2	5
令和2年度	-	2	932	934

表2-(11)-イ 入院勧告通知数 (単位：件)

区分 年度	疾患名			計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	指定感染症	
平成30年度	-	-	-	-
令和元年度	-	-	2	2
令和2年度	-	-	202	202

(12) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 市・医療機関、社会福祉施設、学校等への支援状況

新型コロナウイルス感染症について

- (ア) 感染症指定医療機関、帰国者接触者外来医療機関、協力医療機関、医師会や市消防等と随時、情報交換及び協議を行った。
- (イ) 社会福祉施設、学校等において、患者発生時には、随時、疫学調査及び感染拡大防止のための検査指導を実施した。

イ 感染症情報ネットワーク事業

いちほら感染症情報等を活用し、医療機関や教育機関、行政機関に対し、感染症発生动向や感染症予防対策、発生時対応、トピックスなどについて情報提供や注意喚起を行った。

(13) 感染症健康危機管理事業

表2-(13)-ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数 (人)	主な内容
令和2年 4月13日	28	市原地域健康危機管理推進会議（臨時開催） ・新興感染症に対する医療体制について（講演） ・新型コロナウイルス感染症に対する医療体制について （協議）
（見学会） 令和2年 5月20日	6	千葉県循環器病センター（帰国者・接触者外来）に係る視察 ・新型コロナウイルスの効率よい受診及び検査としてドライブ スルー方式について
令和2年 11月2日	25	市原地域健康危機管理推進会議（臨時開催） ・新型コロナウイルス感染症患者発生について ・インフルエンザ流行に備えた医療等の体制整備 ・市原地域における新型コロナウイルス感染症に関する体制に ついて（協議）
令和3年 2月12日	24	市原地域健康危機管理推進会議 ・市原管内の新型コロナウイルス感染症の医療体制と各機関の 役割について（協議）

表2-(13)-イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数 (人)	主な内容
令和2年 4月28日	12	第1回市原管内基幹3病院新型コロナ対応実務者情報交換 会 ・市原管内基幹3病院との情報共有・役割分担について ・連休中の体制について ・現時点でのPCR検査体制について ・自宅待機、施設療養の状況 ・ドライブスルー外来について
令和2年 5月19日	9	第2回市原管内基幹3病院新型コロナ対応実務者情報交換 会 ・各病院における入院、帰国者接触者外来対応の現状、課題 ・ドライブスルー外来について ・PCR検査体制について

令和 2 年 6 月 11 日	13	<p>第 3 回市原管内基幹 3 病院新型コロナ対応実務者情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内検査実施状況、各病院における入院、帰国者接触者外来対応状況について</li> <li>・検査体制について</li> <li>・退院基準の変更に係る対応について</li> <li>・濃厚接触者の対応変更について</li> <li>・地域外来検査センターについて</li> <li>・クラスター等対策チームの登録、派遣について</li> <li>・災害時の対応について</li> </ul>
令和 2 年 7 月 16 日 7 月 17 日 7 月 29 日 7 月 31 日 8 月 4 日	26	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスについて</li> <li>・个人防护具着脱訓練 (所内)</li> </ul>
令和 2 年 8 月 4 日	13	<p>第 4 回市原管内基幹 3 病院新型コロナ対応実務者情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・帰国者接触者外来での検査について</li> <li>・患者の入院、宿泊療養の判断について</li> <li>・患者の診療情報提供について</li> <li>・勧告入院について</li> </ul>
令和 2 年 10 月 12 日	12	<p>第 5 回市原管内基幹 3 病院新型コロナ対応実務者情報交換会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管内患者の発生状況について</li> <li>・発熱外来＝診療・検査医療機関の指定について</li> <li>・11 月からの体制 医療機関から病院への紹介等</li> <li>・診療所における行政検査の契約進捗状況</li> <li>・各病院における入院、外来の状況</li> <li>・県のホテル療養について</li> <li>・災害時の新型コロナ自宅療養者の対応について</li> </ul>
令和 2 年 11 月 25 日	22	<p>市原管内二次救急新型コロナウイルス感染症対応検討会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夜間休日における COVID-19 陽性患者の入院適応の目安</li> <li>・夜間休日における COVID-19 陽性患者の入院に係る体制</li> </ul>
令和 3 年 3 月 22 日	6	<p>新型コロナウイルス感染症の患者移送について (消防・保健所)</p>

### 3 エイズ対策事業

H I V ・性感染症などの電話・面接相談を行っている。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、H I V検査及び性感染症検査の実施を見合わせた。

また、性感染症の啓発普及活動として、管内高等学校において生徒、教職員を対象とした講演会を開催するとともに、世界エイズデーにあわせたエイズ予防啓発キャンペーンを行った。

#### (1) エイズ予防啓発活動実施状況

##### ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和2年 7月31日	東海大学付 属市原望洋 高校	助産師によ る講演会	「青少年に対するエイズ 性感染症講演会～自分と 相手を大切にすってど ういうこと?～」	高校生・ 教職員	340

##### イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和2年12月3日	市原中央高等学校において、3年生を対象に啓発物資を配布した。

#### (2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況

(単位：件)

年度	性別	相談方法	性別		小計	合計
			男	女		
平成30年度		電話相談	15	8	23	185
		来所相談	107	55	162	
		その他	-	-	-	
令和元年度		電話相談	3	0	3	123
		来所相談	85	35	120	
		その他	-	-	-	
令和2年度		電話相談	3	2	5	5
		来所相談	0	0	0	0
		その他	-	-	-	-

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

※HIV検査・性感染症検査及び肝炎検査は毎月定例(月1回)で日中・夜間検査を実施していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施しなかった。

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数
		男	女			
平成30年度		104	53	157	2	1
令和元年度		81	35	116	2	2
令和2年度		0	0	0	0	0
年齢 階級	～19歳	0	0	0	0	0
	20歳～29歳	0	0	0	0	0
	30歳～39歳	0	0	0	0	0
	40歳～49歳	0	0	0	0	0
	50歳～59歳	0	0	0	0	0
	60歳～	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

検査 性別		クラミジア 検査			梅毒検査			淋病検 査			肝炎検査					
											C型肝炎検査			B型肝炎検査		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成30年度		144	97	47	156	104	52				156	103	53	156	103	53
令和元年度		115	80	35	99	73	26				116	81	35	116	81	35
令和2年度		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※肝炎検査は、肝炎対策事業として実施

淋病検査は、令和2年度から追加。

#### 4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

##### (1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付 数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成30年度		135(10)	-	0	1	11	123(10)
令和元年度		123(10)	-	0	1	5	117(10)
令和2年度		117(10)	-	1	0	7	111(10)

(注) ( ) は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

##### (2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設	対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数	
平成30年度	保健所	前期	133	9	6.7	6
		後期	130	11	8.4	10
	委託医療機関			28		10
令和元年度	保健所	前期	122	11	9.0	9
		後期	118	13	11.0	12
	委託医療機関			17		12
令和2年度	保健所	前期	117	15	12.8	10
		後期	115	15	13.0	12
	委託医療機関			15		7

##### (3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4- (3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分	年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
総数		117	108	1056
医療特別手当		5	6	10
特別手当		-	-	-
原子爆弾小頭症手当		-	-	-
健康管理手当		93	88	84
保健手当		9	9	5
介護手当		-	-	-
葬祭料		10	5	6
健康手当		98	94	94

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。